



お お とり 大 鴻

平成 30 年 1 月 22 日

文責：校長 三代 俊也

入試シーズンに突入

平成 30 年も、はや 20 日が経過し、学校は入試モードに変わっています。本校の入試が 7 日に行われ、17 日は私立特奨・推薦入試、20 日には高専の推薦入試が行われました。

3 年生は今のところインフルエンザの流行もなく、なんとか良い状態で受験ができています。2 月に入ると、1 日は私立一般入試、5・6 日は県立推薦入試が行われます。そして、3 月の 6・7 日の県立一次入試まで長〜い緊張の日々が続きます。家庭では、まずは体調管理をお願いします。元気な状態でこそ自分の力を出し切れるのです。よく食べ、しっかり寝ることも受験対策の一つです。

校長として受験生のためになにかできないかと考え 2 つのことを実行しました。

①入試激励会で「ロングブレス」の話

緊張して力を出せなくならないために、呼吸を整える方法として、「しっかり息を吸って、口からゆっくり 30 秒以上かけて息を吐く。これを 3 回行う」とすると、全身の緊張している筋肉がほぐれて血行が良くなる ⇒ 脳の血流も良くなる ⇒ 普段の力を発揮できる、という仕組みです。

②入試合格祈願雪中登山

鶴見岳山頂の御嶽権現社にお参りしてきました。アイゼンをつけて登りましたが、8 合目からは 20 センチ以上の積雪と強風。お参りが済んだらすぐに下山したので霊験あらたかかどうかはやや不安あり。



附属中では平成 15 年までは由布岳に雪中登山をしていたそうです。よし、2 月には県立合格を祈願して由布岳雪中登山合格祈願をしてきます。

インフルエンザと行事

先週、本校でもインフルエンザによる欠席が急増しました。今月に入り、1 年生が 16 名、2 年生が 9 名、3 年生が 4 名罹患して 5 日間の出席停止となりました。1 年生は落ち着いてきて、2 年生が増加の傾向にあります。

インフルエンザの流行で 1 年生は百人一首大会を中止することになりました。楽しみにしていた生徒もたくさんいたので本当に残念です。2 年生・3 年生は予定通り実施しました。3 年生には 100 枚以上取った達人級の生徒が 6 名もいました。



津波の時の避難場所は

1 月 12 日に避難訓練（地震・津波）を行いました。

大分県近海でマグニチュード 6 の地震が発生し、大分市で震度 4 の中震、地震により津波が発生。予想される波の高さは 5 メートル。津波到着時間は 15 分。

避難場所は屋上。

6 校時、さまざまな場所で授業をしていましたが、津波避難呼びかけ後 7 分弱で全員の避難が完了しました。

生徒は指示通り、静かに落ち着いて避難し申し分ありませんでしたが、学校としては、今後マグニチュード 7〜8 レベルの地震による 10 メートル以上の津波を想定した避難訓練および保護者への連絡（安否確認）と引き渡しの訓練も行う必要があると考えています。その時は、屋上に避難するのではなく高尾台の公園などに避難するようになります。

なお、附属中は災害時の大分市指定避難所にはなっていません。附属中で避難生活を送る場合は、大分市に全面的に頼ることはできません。春日町小、王子中、大分西公民館等が最寄りの避難所です。来年度は一歩進んで危機管理をするようにします。



教育相談実施中

18 日から今年度 3 回目の教育相談を実施しています。3 回目は希望する先生との面談ができるようにしています。校長の私にも 15 名の相談希望者がいて、内心うれしくてたまりません。

教育相談は、普段のちょっとした困りや悩みを伝えることで、担任や周囲の教師がよりよいサポートをしたり適切な学習方法や生活上の工夫をアドバイスすることがしやすくなります。まずは言ってみよう！

◇◇◇ 2 月の諸活動 ◇◇◇

- 2/1 私立一般入試
- 2/2 新入生保護者説明会
- 2/7 PTA 常任委員会・役員会
- 2/13 3 年学年末 PTA
- 2/16 3 年学力テスト
- 2/19-21 1・2 年学年末考査
- 2/27 学校評議員会